

外国メディアとの懇談会「Japan Business Update」

開催日：2016年12月15日(木) 場所：日本外国特派員協会

来賓：板谷 嘉夫 中外製薬取締役上席執行役員CFO

経済広報センターはわが国経済界の対外発信強化の観点から、日本外国特派員協会(FCCJ)と協力し、会員企業関係者と外国メディア記者との懇談会「Japan Business Update」シリーズをスタートさせた。2016年12月15日に開催された第一回会合には、中外製薬の板谷嘉夫取締役上席執行役員CFOが出席、FCCJ会長のカルドン・アズハリ・パンオリエントニュース東アジア支局長はじめ、スイス放送協会、ザ・ストレイツ・タイムズ(シンガポール)、ザ・エコノミスト・グループ(英国)の記者らと、同社のグローバル戦略などについて意見交換した。

1990年代前半に比して日本国内における外国メディアの支局と記者の数は減少し、一人の記者が担当する分野も大きく拡大している。その結果、わが国企業にとって外国メディア記者との関係を発展させることは、決して容易ではない状況となっている。そこで、「Japan Business Update」シリーズでは、日本企業の役員等が自社の戦略等を外国メディアに説明することにより、関係強化の基盤構築とともに、日本企業のより積極的で国際的な情報発信の促進を目指している。

懇談会では、板谷CFOから、2001年12月のスイス・ロシュ社との戦略的提携が順調に展開していること、抗体医薬品など自社の創薬技術に基づく研究開発が確実な成果につながっていること等の説明があり、その後活発な議論が行われた。



経済広報センターでは、今後も会員企業の参加を得て、随時、「Japan Business Update」シリーズを開催していく。

以上